

新ケミカル商事(株) 東洋化成工業(株)をグループ化

1.主旨

新ケミカル商事株式会社（本社：福岡県北九州市）は、6月28日、有機溶剤リサイクルを主たる事業とする東洋化成工業株式会社（広島県東広島市）を子会社とし、グループ化した。

2.東洋化成工業株式会社の概要

資本金 1千万円 売上高 約2億円

代表取締役 里 哲也社長

同社は、沖 康仁前社長が1971年（昭和46年）5月に創業し、自社の設備によりメーカーから受け入れた廃溶剤を蒸留して再製品化するリサイクル会社である。

3.詳細

新ケミカル商事は、売上高1,000億円の達成に向け、中期計画NCT-26を策定し、推進中である。中期計画を推進する中で、当社が一つの柱としている事業が環境リサイクル事業である。

世界的に製品の再利用化による循環型社会の形成が進められている中、当社も国内においてメーカー、リサイクル委託先、需要家とのネットワークの構築を進め、既に樹脂や有機溶剤等のリサイクルに取り組んでいるが、今回の東洋化成工業(株)のグループ化は、当社自身で有機溶剤のリサイクル能力を有する拠点を持ち、事業の強化に繋げる目的がある。

また、当社の有機溶剤リサイクル事業は、これまで関西地方を強みとしていたが、東洋化成工業(株)が所在する東広島市は、広島県内においても高速道路へのアクセスがよい地理的利便性を有することから、広く中国地方全域のメーカー、需要家に対して有機溶剤のマテリアル・リサイクルのサービスを行うことが可能となる。

更に、当社は今回のグループ化を機に、環境リサイクル事業だけではなく、新規事業を展開し、中国地方における営業を推進していく方針である。

以上